



2024 JR総連春闘勝利！ シリーズ⑪

## 世間水準のわずか半分以下だ 賃上げに納得いくものか！

### 2024春闘第7回(再申し入れ)団交

本部は本日、2024年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求に関する申し入れに対する第7回(再申し入れ)団体交渉を開催しました。第6回団体交渉で会社から示された新賃金の回答は全く納得がいくものではありません。

本部は「ベアわずか7,000円は社員の苦労を否定した金額だ。世間相場では最低でも12,000円程度で、最高は35,000円だ。平均の半分以下のベアには納得いかない。世間では満額回答が相次ぎ、JR東海だけはこれに逆らっている。JR東海は他企業よりも利益を上げている。賃上げを抑える理由はない。夏季手当は3.5ヶ月、この間減額された分の実損回復としてプラス10万円と、専任社員は更に5万円を支給せよ。世間並みの定期昇給とするため、逡減を廃止し1乗数1,500円にせよ。リニアが賃上げの最大のお荷物になっている。リニア建設を中止せよ。要求通りの回答を出せ」などと迫りました。

しかし、会社は「当社は賃金水準が高い。中長期的な観点で新賃金を決めた。ベアも夏季手当も、社員の苦労には十分応える金額だ。これ以上の金額を支給する考えはない」などと、傲慢な主張を繰り返し、対立しました。

本部は、持ち帰り検討としました。